

機関名: **(独独)北海道立総合研究機構水産研究本部**

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: **(独独)青森県産業技術センター水産総合研究所**

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 10月～12月	●青森県日本海沿岸のサバの累積漁獲量が、過去5年平均の3.75倍と好調であった。	●表層水温は低めで推移。 ●11月の対馬暖流の流幅ははなはだ広めとなった。	特になし	特になし

機関名: **秋田県水産振興センター**

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 10月～12月	●ハタハタの底びき網漁場が男鹿半島以南の例年よりも浅い水深200m付近に形成された。	●10～11月中旬に、底びき網でオオサルバが入網した。	特になし	特になし

機関名: **山形県水産試験場**

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 10月～12月	●サケが豊富で、定置網では平成27年は466トン、平年比223%であった。	●11月下旬以降、オオサルバが底びき網に入網し、特に南部海域で漁業障害が生じたが、1月に入網は終息した。	特になし	特になし

機関名: **新潟県水産海洋研究所**

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 10月～12月	特になし	●12月上旬に県内全域の水深100から300m範囲でオオサルバが底曳網、板曳網および吾智網に大量入網して網が破れる等の被害が発生した。また、佐渡島沿岸では刺網やイカ釣りの針にかかるともあった。12月下旬には出現数が減少し、1月にはほぼ終息した。	特になし	特になし

機関名: **富山県農林水産総合技術センター水産研究所**

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: **石川県水産総合センター**

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 10月～12月	●寒ブリ漁 11-12月の定置網におけるブリ漁獲量が速報値で51トンとなり、同時期10年平均比21%と低調であった。 ●サバ類 11-12月の定置網におけるサバ類漁獲量が速報値で947トンとなり、同時期5年平均比247%と好調であった。特に11月下旬は同比407%で、ほとんどがゴマサバの入網による。	特になし	特になし	特になし

機関名: **福井県水産試験場**

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 10月～12月	●スルメイカ(24トン):10～12月漁獲量、例年、同時期の約10%、ソデイカ(0.1トン):10～12月漁獲量、例年、同時期の約0.4%、コウイカ(0.04トン):10～12月漁獲量、例年、同時期の約4%、アオリイカ(2.9トン):10～12月漁獲量、例年、同時期の約40%およびケンサキイカ(0.2トン):10～12月漁獲量、例年、同時期の約10%の漁獲量が例年より少ない。	特になし	特になし	特になし

機関名: **京都府農林水産技術センター海洋センター**

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 10月～12月	◆ソデイカの漁獲量が1990年以降最低 2015年:2.4トン(平年比3.3%、前年比7.6% 平年(10年平均)1995～2014年):73.4トン 2014年:32.4トン	◆ヒョウモンダコが京都府沿岸で相次いで6個体採捕される。 10月(2件) 舞鶴市(アサリ養殖コンテナ) 宮津市(トリガイ養殖コンテナ) 11月(2件) 伊根町(定置網) 宮津市(当所棧橋カゴ) 12月(2件) 宮津市(トリガイ養殖コンテナ) 舞鶴市(漁港岸壁) ◆ダイオウイカが京都府京丹後市に1個体漂着(12月) ◆オオサルバが、京都府沖合で10月頃から底曳網に入網しはじめ、11月上旬頃から増加し、11月下旬には操業に支障を来すほど大量に入網。その後、12月10日頃には大幅に減少し、以後は入網も見られず。なお、沿岸の定置網での入網はわずかであった。	特になし	◆マダロの死骸が底曳網に多数入網 ・ズワイガニ漁において、丹後半島沖の水深220～230mの特定海域で、50～60kg級のマダロの死骸が底曳網に入網した。 ・マダロは腐敗したものから骨になったものなど様々であり、多数の入網により網が上げられない事例もあった。 ・また、マダロの脂が漁獲物に固着し、ズワイガニ等を全て放流した事例もあった。

機関名: **兵庫県農林水産技術センター旧県水産技術センター**

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 10月～12月	・ソデイカが前年比2%の極端な不漁。	・9月から12月にかけて、オオサルバの大量発生が見られた。(9月より前にずわいご漁業者より、かごにクラゲ様のものが多数かかるとの報告あり。9月下旬以降は漁業者からの持ち込み、問合せ多数。2つの形態あり。11月中旬に連鎖個体目撃、下旬には水深100m台で増加などの情報あり。12月上旬より底びき網への入網減少、下旬にはほぼ消失。)	特になし	特になし

機関名: **鳥取県水産試験場**

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 10月～12月	【境港まき網】 ・マイワシ 年間水揚げ量は、29.637tと前年(965t)を大きく上回った。10～12月に当歳魚主体に4.002tの水揚げがあった(2008年以降3番目に多い)。2015年春産まれの魚が漁場に加入したため好漁だったと考えられる。 ・マサバ 例年10月以降から水揚げが増加するが、11月まではブリ類が多く水揚げされマサバは少量であった。12月に入ると単月で10.591t(1998年以降初)と多く水揚げされた。11月まで島根沖冷水が離岸傾向にあり沿岸水温が高くマサバの漁場形成が遅れたためと考えられる。	【オオサルバ】 10月頃沖合底びき網で大量にオオサルバが入網したとの情報があり、例年より多く見られたものの、漁業被害が出るほどの状況ではなかった。	特になし	【松葉がにの新ブランド】 今漁期より鳥取県産松葉がにのトップブランドとして「五輝星(いつきぼし)」の取扱を開始 ・甲幅 13.5cm以上 ・重さ 1.2kg以上 ・形状 脚が全てそろっている ・色合い 焼けがにを除く ・身入り 身が詰まっている

機関名: **鳥取県栽培漁業センター**

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 10月～12月	・ヒラメは前年を下回る漁獲で推移しているが、11月にややまとまった漁獲があった。 ・ソデイカの来遊が殆ど無く、H27年は過去20年で最も漁獲が少なくなる見込み。	9/29に <i>C. polykirkoides</i> が確認され赤潮注意報を発令した。その後は確認されず、10/15日に赤潮注意報を解除した。	特になし	特になし

機関名: **鳥取県水産技術センター**

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 10月～12月	○中型まき網 カタクチイワシが平年の2.7倍で2005年以降最高の水揚げ、昨年同様に漁獲のなかったマイワシが平年の1.9倍の水揚げ ○底びき網 ヤリイカが沖底で平年の2.6倍、小底で平年の5.5倍で、2005年以降最高の水揚げ 平年:過去10年平均	○平成27年12月28日 江津沖設置の定置網にオオサルバが約100kg入網。その後の入網および他地区での入網はなし。	特になし	特になし

機関名: **山口県水産研究センター**

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし